

働く家族の介護力強化事業

1 背景

総務省の調査（H29 年就業構造基本調査）によると、親などの介護のために仕事を辞める介護離職者は、全国では年間約 10 万人、本県では約 1,400 人に上り、本県の離職者に占める割合は 2.7%と、全国平均（1.8%）より高く、増加傾向にある。

介護は、親の急病などで突然降りかかってくる場合が多く、近年の県民世論調査でも「日常生活での悩みや不安」として「老後の生活設計や家族の介護」を挙げる方が最も多い（直近の H29 調査では 58.5%）など、県民の多くが介護不安を抱えていることから、介護の理解促進による「事前の備え」が重要と考えられる。

2 これまでの取組み

このため、県では、平成 28 年度から、現役世代を対象とした経営者向けと従業員向けの 2 種類の「介護力強化セミナー」を開催するほか、企業等へ講師を派遣する出前講座を県下各地で開催することで介護の理解促進を図り、介護に直面しても様々な介護サービス等を活用して働き続けることが可能であることを、職場ぐるみで学んでいただいている。

また、昨年度より新たに「介護力強化シンポジウム」を開催し、介護経験のある芸能人（綾戸智恵さん・ジャズシンガー）の講演や、「仕事と介護の両立」をテーマとしたパネルディスカッションが好評をいただいたところ。

<セミナー等の参加者数>

平成 28 年度	496 名
平成 29 年度	924 名
平成 30 年度	1,311 名

<受講者の評価（平成 30 年度）>

満足度	91%	（「とても良かった」47%「良かった」44%）
理解度	95%	（「理解できた」40%「まあまあ理解できた」55%）

3 令和元年度 事業計画

(1) 働く家族の「介護力強化セミナー」の開催

- ① 経営者・人事管理者（使用者）向けセミナー（東・中・南予 各1回）
経営者等を対象に、従業員の介護不安の解消や離職防止が、経営にもたらすメリットを解説。
- ② 働く家族（当事者）向けセミナー（東・中・南予 各1回）
介護に直面しても、様々な介護サービス等を活用して、働き続けることが可能であることを学んでいただくセミナー。
- ③ 専門家派遣による介護力強化セミナー（出前講座）
企業等（働く現場）に介護の専門家を派遣し、研修会の開催等により、介護の理解促進に役立つ取組みを重点的に支援。
※県在宅介護研修センターと連携して開催

(2) 第2回「介護力強化シンポジウム」の開催

～介護による離職ゼロを目指して～

忙しく働く現役世代は、介護に不安を感じていても、具体的行動になかなか結びつけられない現状にあることから、「介護への備え」をテーマとした親しみやすい講演会と、有識者によるパネルディスカッションを併せて開催し、介護への理解を深める第一歩を後押しする。

- ・日程：令和元年 11月10日（日）13:30～15:30
- ・会場：松山市立 子規記念博物館 4階講堂
- ・内容：① パネルディスカッション「介護への備えをしましょう」
② 特別講演：「介護は突然やってくる」～その日のために～
新田 恵利さん（タレント・実の母を介護中）

(3) 介護経験者・経営者・介護の専門家等による協議会の開催

（えひめポジティブケアネットワーク）

労使双方が、専門家の助言を得ながら、業種や企業の垣根を越えて介護に関する情報や課題を共有し、効果的な事業展開の方策を検討。

- ・開催予定 2回（第1回：10/3に開催済み）
- ・介護に関する効果的な情報提供について検討
（「介護への備えガイドブック」拡充版を作成予定）